

ちば山 50 周年記念山行 乗鞍岳―焼岳登山口 報告

【山城】北アルプス乗鞍岳

【日程と天気】2016 年 7 月 2 日～3 日(前夜発)

【メンバー】

A 隊：L 平野(直)・平野(良)・富樫・小俣・薄井・鶴田

B 隊：CL 菊池・斉藤(一)・菅井・加藤・大木

C 隊：L 小倉・杉山・広木・井上(志)・渡辺(純)・時田・吉瀬

【行程】

1 日 20：40 千葉駅北口発―中央道―松本―道の駅「風穴の里」仮眠

2 日 5：00 「風穴の里」発―平湯あかんだな駐車場―バスセンター6：40―畳平

C 隊：畳平―乗鞍山頂ピストン(畳平周辺お花畑散策)

A・B 隊：畳平―十石山・平湯登山道入口―平湯尾根―平湯スキー場―バスセンター

15：30 より全員で平湯―焼岳登山口(釜トンネル入り口)までジョグ・徒歩、中の湯温泉入口で記念撮影



・ 昨秋に実施予定の CL 長池さん立案の乗鞍岳～焼岳登山口計画は悪天により中止となり 2

年目への宿題でした。GW に乗鞍岳～野麦峠の極限状態のハード山行を成遂げた皆さんに敬意を表するとともに、今年の北アルプスからフィナーレの親不知までの縦走開始への橋渡し山行の位置付けとなるこの山行を梅雨明け前の不安定な時期に実施せねばならないプレッシャーが少なからずありました。

18 名もの多くの参加希望をいただき、いかに 2 日間、登山と徒歩・ジョグで焼岳登山口までつ

なげられるか、「ああだこうだ」と思案しましたが、不安定な天気も最終的には味方して下さり、一日目下山後の徒歩・ジョグ(2日目に切り替えに予定していた)を全員参加で滞りなく終了することができました。

参加メンバーのご協力に感謝するとともに、再来週から始まる今期の50周年記念山行が成功することを祈っております。

まずは、乗鞍～焼岳登山口までが終了できたことを報告いたします。

・バスで畳平到着時はホワイトアウト・

雨・強風・低温で山行自身が実施できるかどうか難しい状況であり、レストハウス内でゆっくり雨・防寒対策のウエア調整をし、3リーダーで相談した。視界不良・強風は収まらないが、雨は止んでおり、A隊の山頂往復を中止としB隊と同行動、C隊(乗鞍岳登頂未経験者が殆ど)は登頂を目指す、少なくとも肩の小屋まで行ければGWのチームから引き継ぐことができると考え、レストハウス内での記念撮影の後に出発した。



C隊報告(井上さん記)

コースタイム： 平湯バスターミナル 6:40—7:40 畳平 8:15—10:00 乗鞍岳・剣ヶ峰(3025.7)
—12:20 お花畑・畳平 13:50—14:50 平湯バスターミナル

内 容： 菊池 CL の綿密な事前計画により A、B、C の 3 隊に編成された。 早朝、18 人全員揃って平湯バスターミナルより畳平に向けてバスに乗り込んだ。視界不良の中 1 時間余りで畳平に着いた。相談の結果頂上を目指すのは C 隊のみとなり、全員で写真を撮り、A、B 隊と別れて歩き始めた。

ガイドブックに鶴ヶ池など見えるものが書かれていたが、濃いガスのため足元以外何も見えない。やっと道路の幅だけは見えてその脇に雪渓が見えると視界がひらけたような気がする。すぐに肩の小屋に着きトイレ休憩し、剣ヶ峰に向けて勇躍進む。

とても風が強く不安になるが歩けないほどではなく、降りてくる人もいたので強風に耐えながら進む。そしてほぼ標準コースタイムで頂上小屋も過ぎ剣ヶ峰に着いた。まだガスはとばされず何も見えない。

皆でそれでも登頂記念の写真を撮りあいしばし休憩して下山となった。

雲が流れ始め、時に少し山容をみせるものの、本当に景色が見えるようになったのは肩の小屋近くで、大雪渓に大勢の山スキーヤーが興じるのが見えた。まだ時間の余裕がありそ

うで富士見岳に向かおうとしたが、一瞬すごい強風が吹きそれは断念し、お花畑散策となった。

お花畑では、黒ユリの群生に皆声を挙げた。ほかにイワカガミ、チングルマ、コマクサ、キリンソウなどゆっくり観ることができ、楽しませてくれた。

14時50分に平湯バスターミナルに着くとA隊はすでに到着していて、皆さん思い思いに休憩をされていた。ほどなくB隊が到着し、その歩き方は長いスキー場を降りる過酷さを物語っていた。これで終了かと思いきやなんとA隊隊長平野直さんからミラクルなロードレースの提案が出されたのでした。



乗鞍高原で出逢った花



キリンソウ



イワカガミ



コマクサ



畳平と鶴ヶ池

A・B 隊報告(薄井さん記)

2 日早朝、あかんだな駐車場に全員集合した。今回は車 4 台、18 人の大所帯。私は去年の 50 周年記念山行に参加しておらず、今回が初めての参加となる。

この週末は怪しい予報だったが、幸いまだ雨は降っていない。

しかし 6 時 40 分に平湯バスターミナルからバスに乗り込み、1 時間後に畳平に到着すると、数十メートル先のトイレ棟も見えないような濃いガスに包まれ、困ったことになり風も強い。協議の結果、C 隊がバスターミナルから山頂を往復し、同時に A 隊 B 隊は合同で平湯まで歩いて下山し、ラインをつなぐことになった。

バスで走った車道をしばらく歩いて戻り、平湯へ向かう登山道へ入る。晴れていれば素晴らしい眺望に違いない稜線歩きも、今日はお花畑だけが慰め。ところがひたすら下るにつれて、ときどき雲が切れるようになってきた。十石山との分岐直前の稜線で、下山口である旧スキー場を見下ろしながら大休止する。



分岐からは、A 隊 B 隊に別れて行動することにした。と言っても同じ道をたどるスピードの違いだけだが、A 隊 6 人が先行し、軽快に下る平野リーダーをトップに早めのスピードで下りていく。

最近刈り払いをしたらしく、笹が敷き詰められたような状態で滑りやすい道をひたすら下る。風は強いが、空はいいよ晴れてきて、木々の間から景色を楽しめるようになってきた。なかなか休憩しやすい場所が見つからず、結局 12 時 20 分に旧ゲレンデトップに出たところで休憩とした。



旧ゲレンデは日陰もなく、足元は砂利で歩きにくい。スキーだったら早いんだけどなあ…またこの暑い夏山の季節が来てしまった…怒涛の下りを頑張ったご褒美は、ゴール直前に見た平湯大滝だった。

バスターミナルに戻り足湯につかってのんびりと B、C 隊を待っていると、しばらくしてほぼ同時に到着。再度全員が集めた。



計画を変更したため、時間はまだ早い。ならば明日の天気は悪いようだし、中の湯までのラン & ウォークを今日やっちゃいましょうと話がまとまった。

車 4 台が同時多発的に開始するには、ルートに目印が必要になる。「ちば山」と書かれたメモ

用紙を全員が持ち、自分がスタートする地点に置いて、前の走者のゴールを示すことにした。1 号車（菊池号）の担当は、バスターミナルから 4 キロ地点までの山登りルート。一山終えた後の登りランはなかなか辛く、「山の神はすごいんだー」と箱根の山を登っている気分でよ



ろよろしていたら、後続の井上さんが置いたはずの目印を完全に見落とし、倍の2キロを走ってしまった。

数の力に物を言わせ、1時間もかからずすべてが終了。各車が走り終えたメンバーをピックアップし、中の湯旅館前にて記念撮影をした。

2日間の予定を1日に短縮して、今回のミッションは無事達成されたのだった。

旅館とキャンプ場に分宿した翌朝は、7時半からしっかり大雨。平湯大滝と民俗館で見学・入浴(無料)後各車思い思いに帰途に就いた。

